

CONTENTS

- 1 はじめに
- 2 2025-26 年度国家予算案の概要
- 3 バングラデシュ中央銀行の緩和の動き
- 4 2025 年 6 月～7 月に発出された主な法令情報（6 月 3 日～7 月 8 日）
- 5 編集後記

Introduction

バングラデシュでは、6 月から 7 月にかけては忙しい月になります。会社法により、企業の事業年度は 7 月から開始すると定められ、6 月が決算期となります。また、国家予算や税法も 6 月に法案が提出され、審議の後、7 月の新年度から実施されます。今年も新しい年度に向けた予算案が発表されました。

バングラデシュ中央銀行は、IMF の勧告を受けて完全変動為替相場への移行を進め、引き続き、外資系企業の海外送金や輸入決済について緩和の動きを示しています。

そこで、今回は、2025-26 年度国家予算案の概要の概要と、バングラデシュ中央銀行の緩和の動きについて紹介します。

本ニュースレターの受信者の皆様にとって関心のあるテーマのご要望がございましたら、info@tny-legal.com までご連絡頂けると幸いです。

2025-26 年度国家予算案の概要

2025 年 6 月 2 日、暫定政府は 2025-26 年度の予算案を発表しました。

1 概要

予算総額は 7.90 兆タカ（GDP の 12.7% 相当）であり、うち収入予算は 5.64 兆タカで、前年から 8.9% 増加しています。

収入は、国税庁（NBR）による税収入が 4.99 兆タカ、非税収入が残りの 6,500 億タカを占めています。

年間開発計画（ADP）は 2.30 兆タカの支出とし、政府資金の 1.44 兆タカとプロジェクトローン、助成金の 8,600 億タカを充てる予定です。予算赤字額は 2.26 兆タカで、国内で 1.25 兆タカ、外国から 1.01 兆タカの借り入れにより資金調達する予定です。

支出については、社会福祉の投資を引き続き優先しており、主に次のような予算を提案しています。

部門名（日本語）	部門名（英語）	予算額 （億タカ）
教育	Education	95,644
農業	Agriculture	27,224
健康・家族福祉	Health and Family Welfare	41,908

部門名（日本語）	部門名（英語）	予算額 （億タカ）
防衛	Defence	40,698
内務	Ministry of Home Affairs	31,039
情報通信技術	Information and Communication Technology Division	2,144
環境・森林・気候変動	Ministry of Environment, Forest and Climate Change	2,144
ICT 部門	ICT Division	2,144
エネルギー	Energy	2,178
電力	Power	20,342
教育（初等・中等）	Primary and Secondary Education	35,403
イスラム教・マドラサ教育	Technical and Madrasa Education	12,678
魚類・家畜	Fisheries and Livestock	3,392
労働・雇用	Labour and Employment	438
公務員福利	Expatriates' Welfare and Overseas Employment	855
選挙	Election Commission	2,956
内閣	Cabinet Division	116
公務員委員会	Bangladesh Public Service Commission	149
住宅・都市開発	Housing and Urban Development	22,776
科学・技術	Ministry of Science and Technology	12,154
水資源	Ministry of Water Resources	8,489
鉄道	Ministry of Railways	7,714
交通・通信	Ministry of Road Transport and Highways	32,329
地方政府	Local Government Division	36,099
航空・観光	Civil Aviation and Tourism	2,455

2025-26 年度予算は、各専門家からは、税制、銀行、公共責任といった重要な分野での構造改革が実施されていないとして批判を受けています。一部の専門家は、この予算が「構造的な現状維持を大きく維持している」と指摘し、「予算自体は今すぐに国が必要とする実質的な構造改革を提供していない」と述べ、「成果に基づく予算編成がなされていない」と批判的な意見があります。

政策対話センター（CPD）は、提案された予算には「体系的な変革が見られない」と強調し、ADP の 13.2%削減や、教育、健康、農業を含む 15 のセクターの 13 で予算削減があったことを説明しました。

<https://www.thedailystar.net/business/bangladesh-budget-2025-26/news/advisory-council-approves-tk-790000cr-budget-3909251>

<https://www.dhakatribune.com/bangladesh/382889/budget-fy26-all-stories>

<https://www.thedailystar.net/business/bangladesh-budget-2025-26/news/budget-lacks-structural-changes-cpd-3909771>

<https://www.thedailystar.net/business/bangladesh-budget-2025-26/news/budget-lacks-structural-changes-cpd-3909771>

バングラデシュ中央銀行の緩和の動き

6月24日、バングラデシュ中央銀行は2つの通達を発表しました。

1. サービス対価の送金

現地法人の外国出資比率が50%未満の子会社でも、特定の条件を満たした場合、外国企業の親会社や関連会社から受けたサービスの対価を海外に送金できることが明確になりました。

条件の概要は次のとおりです。

- ・バングラデシュ国内の関連法令で送金が許可されていること
- ・現地法人の事業運営が外国の投資家や関連会社を利用していること

本措置により、ジョイントベンチャー（JV）や外国の少数出資子会社が、グローバルな専門知識やブランド、サービスに依存して運営する場合、送金が容易になります。

2025年2月19日の通達により、外国出資比率が50%以上の子会社については、送金額が会計年度の純利益の10%を超えない範囲で親会社からのサービスに対する送金が認められています。本措置はその対象を広げた形となります。

2. 販売契約に基づく輸入代金の LC 決済要件の緩和

バングラデシュ中央銀行は、AD（銀行）に対して、販売契約に基づく輸入取引において、AD が支払い責任を負わないことを明確にしました。この措置は、販売契約に基づく輸入取引を促進し、外貨不足の状況下で取引を活性化させることを目的としています。

2022年の通達では、ADに販売契約に基づく輸入の支払いを確実に行う義務が課されていましたが、この指示がADの不安や取引に対する消極的な姿勢を引き起こしていました。今回の措置により、ADが販売契約に基づく輸入取引を積極的に取り扱うと期待されており、輸入者にとってはコスト削減、柔軟な取引条件の提供が可能になると見込まれています。

2025年6月7日に発出された主な法令情報(6月3日～7月8日)

Official Extraordinary Gazette Notification and other Circulars

Issue Date	Title	Issuing Ministry
03-Jun	S.R.O. No. 262-Act/2025/70/Customs.—Partial customs duty exemption for certain imported goods	Ministry of Finance

03-Jun	S.R.O. No. 261-Act/2025/71/Customs.—Non Tourist Baggage Regulations 2025	Ministry of Finance
16-Jun	No. 27.00.00000.094.22.001.23.55.--Renewable Energy Policy 2025.	Ministry of Power, Energy and Mineral Resources
22-Jun	S. R. O. No. 149-Act/2025.--Amendment of the Insurance Agents (Employment, Registration and License) Regulations, 2021.	Non Government Organization
22-Jun	No. Inter Op. Tri:/137/Rules/11--International Crimes Tribunal Rules of Procedure (Amendment), 2025.	Law and Justice Division
24-Jun	S. R. O. No. 269-Act/Income-Tax-14/2025.—TDS Rules 20024 Amendment	National Board of Revenue (NBR)
24-Jun	S.R.O. No. 268-Act/Income-Tax-13/2025.—Cancellation of certain SRO	National Board of Revenue (NBR)
26-Jun	S. R. O No.-271-278-Act-2025.—Amendments of VAT & SD Rules 2016	National Board of Revenue (NBR)
26-Jun	No. Inter Op. Tri-2/792/2025.--International Crimes (Tribunal-2) Rules of Procedure (Amendment), 2025.	Law and Justice Division
26-Jun	Ordinance No. 33, 2025.--Certain Laws Relating to Finance (Amendment) Ordinance, 2025.	Ministry of Law, Justice and Parliamentary affairs
29-Jun	S,R,O No. 279-Act/2025.--Boiler Rules, 2025.	Ministry of Industries
01-Jul	Ordinance No. 35, 2025.--Provision of Legal Aid (Amendment) Ordinance, 2025.	Ministry of Law, Justice and Parliamentary affairs
03-Jul	No. BCC/SamrRashid/TO01-80(2nd Part)/88/Para/154.	Bangladesh Securities and Exchange Commission
10-Jul	Ordinance No. 36, 2025.--Ordinance Code of Criminal Procedure (Amendment) Ordinance, 2025.	Ministry of Law, Justice and Parliamentary affairs

Bangladesh Bank Circular

Issue Date	Title
03-Jun	DFIM Circular Letter No. 13: Rescheduling/restructuring of housing loan/investment.
04-Jun	PSD Circular No. 10: Issuance of PSO-WLMA license to 'SSL Commerz Limited'
16-Jun	DFIM Circular Letter No. 14: Name change of GSP Finance Company (Bangladesh) Limited to GSP Finance Company (Bangladesh) PLC.
17-Jun	FEPD Circular No. 21: Release of foreign exchange against cost of advertisement
18-Jun	FEPD Circular No. 22: Outward remittances on account of project related expenses
19-Jun	FEPD Circular No. 23: Remittances against current account transactions
24-Jun	FEPD Circular Letter No. 23: Usance import under purchases/sales contracts
24-Jun	FEPD Circular Letter No. 24: Service payments by subsidiaries of foreign companies
02-Jul	FEPD Circular No. 25: Term lending in Taka to foreign owned/controlled companies

09-Jul	SMESPD Circular No. 02: Master Circular on Start-up Financing
10-Jul	FEPD Circular No. 28: Export Subsidy/Cash Incentive from July 01, 2025 to December 31, 2025 for the financial year 2025-2026

ご案内

弊事務所では、新規取引に関する契約書の作成やレビュー、雇用契約に関するご相談、債権回収に関するご相談、日本語での解説、書類の用意、手続き代行など、幅広く承っております。

例えば、顧問契約においては、お客様のご事情に沿ったサービス内容を検討し、お見積りをご提案しております。その他、顧問契約などの継続的な取引のない方でも、案件ごとにご依頼いただけます。

また、事業の進め方や取引方法について、バングラデシュの法令に基づいて最善の方法を検討したいというお客様には、法令調査や関係機関へのヒヤリングなどの法律調査も承っております。

- ✓ 株式譲渡手続きをしたい
- ✓ 取締役、株主の変更手続きをしたい
- ✓ 支店から現地法人に変更したい
- ✓ 計画している事業について、外資規制があるか確認したい
- ✓ 雇用契約のリーガルチェックをして欲しい
- ✓ 契約書を作成して欲しい
- ✓ 労働者のストライキへの対応について相談したい
- ✓ 従業員を解雇したいが、どのように進めればよいか
- ✓ 金銭トラブルを解決したい
- ✓ 現在依頼している会計事務所のサービスに不満がある

- ✓ 法務に関する事案は日本の親会社の法務部が管轄するが、現地でのサポートが欲しい、etc....

といった方、個々の案件ごとにお見積りを差し上げております。突発的に生じる、契約書作成やレビュー、就業規則をはじめとする社内規定類の見直しなど、お気軽にお問合せください。

編集後記/ Editor's Note

2023年12月に運行を開始したMRT6号線は、平日・休日を問わず高い乗車率を記録しており、市民からは「便利になった」と好評です。しかし、金曜日の運行がまだ始まっておらず、全日運転への期待が高まっています。

さらに、2025年からはMRT5号線の工事が本格化し、6月にはグルシャン2交差点周辺でも掘削工事が始まりました。当初、工事による渋滞はありましたが、徐々に落ち着いてきています。



本稿は、2025年7月8日現在の情報に基づきます。

TNY Legal Bangladesh Limited

Address: House 67, Road 4, Block C, Banani
Email: info@tnygroup.biz/ Phone: +8801979433866
URL: <https://www.tny-bangladesh.com/>



HP



Facebook



Blog